

2019年ラグビーワールドカップ普及啓発事業
「放課後ラグビープログラムモデル事業」 実施報告

I：実施概要

(1) 事業主旨

- ①2019年ラグビーワールドカップ日本開催の決定、2016年リオデジャネイロから男女とも7人制ラグビーが正式採用されたことを受け、日本のラグビー競技についての普及・競技力向上が必要とされる。
- ②競技者増加のための環境整備として、平日・放課後での中学生等のラグビー活動参加機会の創設に取り組む。
(タグラグビー⇒ラグビーへの移行)
- ③普及促進のための人材確保として、トップアスリートや選手OB人材の活用を行い、「人材の好循環」や「スポーツNPO育成」といった、スポーツの連携・協働にも取り組む。

(2) 事業概要

平日の放課後もラグビーが出来る環境を整備し、中学生等の競技者の拡大を図る。
またタグラグビーを経験した小学生が、ラグビーへ移行するための受け皿になること目指す。

(3) 事業目的

- ・ラグビースクール経験者が中学でもラグビーに触れることが出来る機会づくり
- ・週末のみの練習となるジュニアスクール選手の機会づくり
- ・ほかのスポーツに取り組む中学生のラグビーに触れる機会づくり
- ・試合や大会出場を目的としない「スポーツ参加」を希望する中学生の運動機会づくり
- ・所属ジュニアスクール以外の指導者から教わる技術指導や楽しみ方の創出

(4) 対象

中学生を対象とした「放課後ラグビー」モデル作り

(5) 方法

平日開催のラグビー教室を新設し、平日放課後とした参加者を募り環境整備に向けたモデルクラブを試験的運営する。

(6) 要件

- ・(公財) 日本ラグビー協会よりモデル地域を策定し拠点校指定
- ・(公財) 日本ラグビー協会より指導プログラム、コーチを認定
- ・拠点校に管理者、指導者を配置(委託)

(7) 実施期間

- 【東京クラス】2014年10月～12月(全12回 10/2・9・16・23・30、11/6・13・20・27、12/4・11・18)
- 【群馬クラス】2014年10月～12月(全12回 10/1・8・15・20・22・29、11/12・19・26、12/3・10・17)
- 【滋賀クラス】2014年10月～2015年2月(全12回 10/6・20・27、11/10・17、12/8・15・22、1/5・19・26、2/2)

【徳島クラス】2014年11月～2015年2月（全12回 11/6・13・20・27、12/4・11・18・25、1/15・22・29、2/5）

【福岡クラス】2014年11月～2015年2月（全12回 11/14・21・28、12/5・12・19、1/9・16・23・30、2/6・13）

（8）実施場所

【東京クラス】世田谷区リコー総合グラウンド（東京都世田谷区宇奈根 1-5-1）

【群馬クラス】パナソニック ワイルドナイツグラウンド（群馬県太田市龍舞町1619-1）

【滋賀クラス】布引グリーンスタジアム・布引運動公園陸上競技場（東近江市芝原町1503番地）

【徳島クラス】つるぎ町立貞光中学校体育館（徳島県美馬郡つるぎ町貞光字中須賀52番地）

【福岡クラス】九州共立大学ラグビーグラウンド（福岡県北九州市八幡西区自由ヶ丘1-8）

（9）事業形態

事業の主催者は（公財）日本ラグビーフットボール協会が行う。

一部、管理業務・指導者派遣等を再委託を行う。

Ⅱ：実施結果

（1）参加人数

【東京クラス】31人（男29人、女2人）

【群馬クラス】30人（男26人、女4人）

【滋賀クラス】12人（男12人、女0人）

【徳島クラス】25人（男25人、女0人）

【福岡クラス】31人（男27人、女4人）

（2）実施回数 全12回実施

（3）最終意識調査結果

第12回に参加者アンケート配布 集計結果別紙参照

（4）実施レポート

放課後ラグビープログラム 特設ホームページ参照

<http://www.houkagorugby.info/>

Ⅲ：コーチ紹介

【東京クラス】

メインコーチ 川合レオ（指導者資格：（公財）日本ラグビーフットボール協会強化コーチ資格・トップコーチ資格・WRエデュケーター資格）

アシスタントコーチ 田沼広之（元日本代表、リコーブラックラムズスタッフ）

【群馬クラス】

メインコーチ 水間良武（指導者資格：（公財）日本ラグビーフットボール協会強化コーチ資格）

アシスタントコーチ 三宅敬（パナソニックワイルドナイツ所属・元日本代表）

【滋賀クラス】

メインコーチ 向山昌利（指導者資格：（公財）日本ラグビーフットボール協会強化コーチ資格）

アシスタントコーチ 西山栄二（NPO 法人 東近江スポーツクラブ楽苦備代表理事）

【徳島クラス】

メインコーチ 真先健（指導者資格：（公財）日本ラグビーフットボール協会強化コーチ資格）

アシスタントコーチ 村岡陽平（徳島県ラグビーフットボール協会強化担当）

【福岡クラス】

メインコーチ 下園博信（指導者資格：（公財）日本ラグビーフットボール協会強化コーチ資格・WR エデュケーター資格）

アシスタントコーチ 松本健志（九州共立大学ラグビー部コーチ/元コカ・コーラレッドスパークス所属）

IV. 総括報告	
教室名	東京クラス
メインコーチ	川合レオ
開催条件	<p>使用しているグラウンドの環境、条件（大きさ、特徴、サポート体制 等）</p> <p>リコーブラックラムズの協力もあり、雨天時は室内を利用でき、すべてにおいて十分な施設での練習を行うことができた。また、男女別のシャワー付きロッカールームを利用できたことも参加者にとっては好評だった。</p> <p>開催グラウンドの周辺ラグビー環境（スクール、部活動 等の有無）</p> <p>近隣には、世田谷ラグビースクール、そして、田園都市線沿線には神奈川県ラグビースクールも数多く点在していることもあり、様々なスクールからの参加となった。</p> <p>グラウンド確保の借用方法（手続き、借用方法の流れ）</p> <p>事前に、田沼アシスタントコーチに連絡し、グラウンドを確保していただいた。また、雨天時は、練習前に室内の施設の利用の打ち合わせ等を行った。</p>
指導内容 (方針)	<p>12回の教室からの指導のターゲット（目標）</p> <ol style="list-style-type: none">1. ラグビーの原則の理解と実践。2. 原則を合理的に実行する上でのテクニック&スキル。3. ラグビー憲章の理解と実践。 <p>1日のプログラム組み立ての考え方</p> <ol style="list-style-type: none">1. ウォーミングアップ（スキルの復習）2. ストレッチを含めたフィジカルトレーニング3. テクニック&スキルトレーニング4. ゲーム5. ストレッチ <p>教えるときに注意した点や指導テクニック</p> <p>放課後ラグビー後に自分で自分を成長させられるようにキーポイントを覚えられるような指導を心がけた。テクニックについては、細かいポイントというよりも、本当に大事な大きなキーポイントを伝えるようにした。また、テクニックについては、あくまでもスキルとしてゲームの中で発揮してこそ意味があることであるという考えの元、常にゲームを用いながら、練習の組立を行った。</p>
感想・印象	参加者の程度（競技レベル、運動能力 等）

今後の展望	<p>初心者の参加もあったが、全体的にはレベルの高いプレーヤーが多くいた。おそらく、東京都、神奈川県トッププレーヤーも多く参加していたと思う。また、下級生も、今後、そのグループに入る可能性のあるプレーヤーではないかと思われる。</p>
	<p>参加者の様子（主観的な参加者の受けている印象 楽しそう、充実している等）</p>
	<p>一つ一つの練習については、充実感を感じながら行ってくれていたと思う。ただ、放課後ラグビーの練習は、かなりテンポが速く進んでいくので、もう少し、ゆっくりとテクニックを指導して欲しかったという気持ちのプレーヤーはいたかなと思う。</p>
	<p>12回の指導からの成長具合や理解度、指導からの印象</p> <p>プレーヤーたちは、あっという間に12回が終わり、正直、各人が自分の成長を身を持って感じているかどうかは疑問であるが、指導者からみると、明らかに12回終了後は、ラグビープレーヤーとしての全体的なレベルは、どのプレーヤーも向上していた。また、ラグビーへの理解も深めてくれた。また、練習に臨む態度なども、回を重ねるごとに指導者側からの無駄な注意が減り、練習時の規律を守る意識も高くなっていた。</p>
メッセージ	<p>指導をした参加者へのメッセージ</p> <p>この度は、指導する機会をいただき、ありがとうございました。12回という限られた時間をコーディネートすることは、指導者である我々もチャレンジであり、とても勉強させてもらいました。すべての要望に沿った指導ができたわけではないと思いますが、参加者のみなさんの今後のラグビープレーヤーとしての成長の一助になっていれば幸いです、また、どこかで指導させてもらえることを楽しみにしています。これらのラグビー人生、苦楽を含めて、楽しんで下さい。ありがとうございました。</p>
雑感	<p>中学放課後ラグビーに関する成果や期待度</p> <p>今年も、多くの可能性を感じるプログラムだったと思料する。特に東京クラスは、事前の申し込みが70名を超え、本プログラムへの期待の大きさを感じる、あきらかな結果が現実的な数字にも現れていた。今回も終了後に、多くの方から、今後の継続のご要望の意見もお聞きした。来年度も、本事業が行われれば、期待以上の成果が出ることは間違いないことと思われる。本プログラムの今後の発展を祈願している。</p>

教室名	群馬クラス
アシスタントコーチ	三宅 敬
開催条件	<p>使用しているグラウンドの環境、条件（大きさ、特徴、サポート体制 等）</p>
	<p>私達が普段使用している天然芝のグラウンドを使って毎回のプログラムを開催した。雨天時はテントを張って親御さんや着替えのスペースを確保した。グラウンド一面を大きく使用でき、ボールやコンタクトバッグ等の道具類も使用できたので、プログラムの幅が広がった。また、毎回のように選手がサポートで来てくれたことも、群馬クラスの大きな魅力であった。</p>
	<p>開催グラウンドの周辺ラグビー環境（スクール、部活動 等の有無）</p>
	<p>週末は「東毛ワイルドナイツ」というご当地スクールがワイルドナイツのグラウンドを使用している。その他にも群馬ではいくつかスクールがあるが、1時間以上かけて車で来てくれた生徒がほとんどだったので、親御さんのサポートなしでは成り立つことができなかつた。また、県外の栃木県佐野市からも来てくれる生徒がいた。</p>
	<p>グラウンド確保の借用方法（手続き、借用方法の流れ）</p>

	グラウンドを確保することにさほど手続きはいらなかった。雨の日はグラウンドの消耗が激しいので、端を利用するなど配慮した。
指 導 内 容 (方針)	12回の教室からの指導のターゲット（目標）
	難しいスキルや知識を詰め込むのではなく、シンプルではあるけれど実践での正確なスキルや状況判断を身に付けてもらえるようなプログラムを構成した。また、当たり前のことなのですが、きちんと誰にでも挨拶や礼儀正しい作法を身に付けてもらえるように心がけた。
	1日のプログラム組み立ての考え方
	1. ウォーミングアップ 2. ランニングスキル 3. ハンドリングスキル 4. 本日のテーマ 5. ボールゲーム 6. 体幹トレーニング 7. 振り返りの時間
	教えるときに注意した点や指導テクニック
	常に生徒達が発言し、考えることを目的とした指導を心掛けた。一言で言えば「コミュニケーション」を重視した内容である。指導者の一方的なコメントは極力控えて、生徒達に発言、答えを導き出させることで言葉の重みを感じてもらい、言葉の責任を持ったプレーをしてもらうことを狙いにした。
感 想 ・ 印 象 今後の展望	参加者の程度（競技レベル、運動能力等）
	全員が経験者だった。女子もいたが、全体的に仲間意識の高い中で行うことができた。能力差については学年で分けたり縦割りでミニチームを作ってバランスを整えたりとできる限りの工夫をして、みんながそれぞれの気配りを持ってプレーするよう促した。
	参加者の様子（主観的な参加者の受けている印象 楽しそう、充実している等）
	放課後プログラムが待ち遠しかった！というオーラを持って参加してくれた生徒がほとんどだったので、あつという間の2時間が12回続いた。ただ、反復して行うことができないため、スキルを体で覚えるといった感覚は個人差が大きかったように思われる。
	12回の指導からの成長具合や理解度、指導からの印象
	目に見えてのスキルの上達はもちろんだが、ゲーム理解度、コミュニケーション力、ラグビーに対する姿勢などが大きくプラスとなって変化していた。何よりスクール関係者の方々から、放課後プログラムに参加してからというもの飛躍的に良くなった！という声を多々いただいた。
メッセージ	指導をした参加者へのメッセージ
	この度は、私達にとっても群馬クラスを開催するにあたり初めてのことでいろいろと戸惑いや不備な点などあったかとは思いますが、まずは全12回を笑顔で締め括れたことに感謝申し上げます。改めて指導の難しさを経験することができ、その中で生徒と指導者が共に成長していく過程を感じながら行えたのはこれからの糧となります。みなさんがいきいきとプレーしてくれたことがとても印象的で、ラグビーを純粋に楽しもうという気持ちをこれからも持ち続けて頑張ってくださいね！
雑感	中学放課後ラグビーに関する成果や期待度
	「またぜひ開催してください！」というご意見をたくさんの方からいただいたのが印象的だった。特に部活動でラグビーが無い地域ではこれからも積極的に行っていくべきではないかと思う。これからのラグビーを指導するあり方の革命的な事業かもしれない。いや、すでにそう思う。塾に行く感覚で、放課後もラグビーを学ぶという文化が根付くと良いと考える。

教室名	滋賀クラス
メインコーチ	向山昌利
開催条件	使用しているグラウンドの環境、条件（大きさ、特徴、サポート体制 等）
	グラウンドの指定管理者（東近江市地域振興事業団様）のご協力もあり、積雪時以外は天候にかかわらずグラウンド利用できた。積雪時だけは使用できなかったが、芝の管理、凍結による怪我の心配などを考慮すると致し方ないことだと思ふ。また、使用する機会はなかったが、シャワー付きロッカールームを利用できる点は利用者の利便性の向上につながると思われる。
	開催グラウンドの周辺ラグビー環境（スクール、部活動 等の有無）
	近隣には、ラグビースクールが存在せずラグビーの普及が遅れる地域であった。その影響もあり参加者人数が少なかったと考えられる。
	グラウンド確保の借用方法（手続き、借用方法の流れ）
	事前に、グラウンドの指定管理者に協力をお願いした。その後、市の教育委員会にも後援を依頼し、グラウンドを確実に使用できるようにした。また、雨天時や積雪時は、前日にグラウンドに電話を入れグラウンド状況を確認した。
指導内容 (方針)	12回の教室からの指導のターゲット（目標）
	ほとんどがラグビー初心者だったので、ラグビーボールを持って自由に走る楽しさを体験してもらうことを目標にした。具体的なターゲットは、最終回にタッチフットを実施することとした。
	1日のプログラム組み立ての考え方
	1. ウォーミングアップ（スキルの復習） 2. ストレッチを含めたフィジカルトレーニング 3. テクニック&スキルトレーニング 4. ゲーム 5. ストレッチ
	教えるときに注意した点や指導テクニック
	初心者の参加が多かったので、スキルの習得よりもラグビーボールを持って自由に動ける楽しさを体験してもらうことを重要視した。また、課題を指摘するよりも、上達した点を褒めることを心がけた。
感想・印象 今後の展望	参加者の程度（競技レベル、運動能力 等）
	参加者のほとんどが初心者だったが、身体能力の高い選手も多かった。参加者の中には、近畿を代表するレベルの選手になる可能性をもつ選手もいた。
	参加者の様子（主観的な参加者の受けている印象 楽しそう、充実している等）
	ボールを持って自由に走ることにに関しては満足してくれたと思料する。しかし、スキル習得を目指すトレーニングの際には、うまくプレーできず面白さを感じることができなかった選手もいたかもしれない。
	12回の指導からの成長具合や理解度、指導からの印象
	初回の練習では、ボールを落としたり、ボールを前にパスしたりしていたので、どのように指導していくべきか困惑した。しかし、練習を重ねるごとに確実にスキルが上達した。最後には、満足できるレベルでタッチフットを実施できるレベルにまで至った。
メッセージ	指導をした参加者へのメッセージ
	みなさんと楽しくラグビーをプレーできて良い経験ができました。ただ指導者の力不足が原

	因で、ラグビーの魅力がすべて皆さんに伝えられたとは思えません。ぜひラグビーのプレーを続けて、より楽しいラグビーに触れてください。
雑感	中学放課後ラグビーに関する成果や期待度
	ラグビーの発展を実現するには、ラグビー無関心層をいかに取り込むかが重要になってくる。そのため滋賀のようなラグビーの発展が遅れる地域でこそ放課後ラグビーの継続的な実施が求められると考える。

教室名	徳島クラス
アシスタントコーチ	村岡 陽平
開催条件	使用しているグラウンドの環境、条件（大きさ、特徴、サポート体制 等）
	つるぎ町教育委員会管理下である貞光中学校グラウンド及び体育館、ゆうゆうパークを使用した。冬であり低気温、積雪等の天候状況を考慮してプログラムの大半を体育館で行った。コート（縦 40m横 30 m）の広さも十分で問題なく使用できた。グラウンドは土だったが、ナイター・トイレ・駐車場などの設備があり問題なく使用できた。
	開催グラウンドの周辺ラグビー環境（スクール、部活動 等の有無）
	近隣のラグビー環境として、小学校では脇町ラグビースクール、高校ではつるぎ高校、脇町高校といった全国屈指のラグビー伝統校が存在する。近年では、周辺地域の小学校でタグラグビーにも熱心に取り組んでいる。しかし、中学生のラグビー環境は皆無であった。
	グラウンド確保の借用方法（手続き、借用方法の流れ）
	つるぎ町教育委員会に申請して使用した。（会場使用有料）
指導内容 (方針)	12回の教室からの指導のターゲット（目標）
	ラグビーの原則に従い、実践を伴いながら理解の深化、スキル&テクニックの向上を図った。回ごとにテーマを設定し、それを追求していく形で進めていった。
	1日のプログラム組み立ての考え方
	1. ウォーミングアップ（スキルの復習） 2. ストレッチを含めたフィジカルトレーニング 3. テクニック&スキルトレーニング 4. ゲーム 5. ストレッチ
	教えるときに注意した点や指導テクニック
	未経験者の子ども達が各回の練習で理解の深化を図れるよう、事前に東京クラス等のレッスンを研究し、内容を精選して進めた。参加者の理解や習得状況に応じて反復練習を取り入れたり、他コーチと協力して小中学生を分けて指導したりと個人の伸長に寄り添った指導を心がけた。
感想・印象 今後の展望	参加者の程度（競技レベル、運動能力 等）
	ほとんどがラグビー未経験者であり競技レベルを把握することは難しかったが、運動能力は比較的に高いレベルにあるように感じられた。
	参加者の様子（主観的な参加者の受けている印象 楽しそう、充実している等）
	新しいことを学ぶことへ肯定的な感情を抱いており、全体的にラグビーを楽しんでいるように伺えた。また、プログラムのない日にも自主的に練習に励んでいる者もおり高い意欲を感じた。「今後もラグビーを続けたい。」という者もおり一定の成果を感じている。
	12回の指導からの成長具合や理解度、指導からの印象
	12回のプログラムを終えて、理解度、競技力ともに飛躍的に成長したと感じる。一人一人の

	技術が高くなったというよりもラグビーの原則理解が進んでいるといった印象で、各局面で意図のあるプレーが見られるようになった。また、参加者同士やコーチとのコミュニケーションも図られ、今後もつながっていくような人間関係が構築されたように感じられた。
メッセージ	<p>指導をした参加者へのメッセージ</p> <p>私自身がチーム指導経験もなく、中学生環境もない状況下でのプログラム開催でしたが、向上心の高い参加者との時間を心から楽しませていただきました。指導方法等も実践しながら学ぶことができ本当に有り難い機会をいただいたと感謝しています。本地域での初めての試みにもかかわらず、前向きに参加してくれた子ども達、保護者、協力いただいた各関係機関の皆様に心より感謝申し上げます。</p>
雑感	<p>中学放課後ラグビーに関する成果や期待度</p> <p>前例のない取り組みに開催前は不安も感じていたが、23名の子ども達が参加してくれたことから本地域のラグビー普及・発展の可能性を感じた。参加者のなかには中学生でもラグビーをしたいという意志をもつ者が多数存在しており、受け皿さえあれば今後も拡大していくと感じています。このプログラムをきっかけに、新年度からは本地域の総合型スポーツクラブの新規教室として小中学生を対象としたラグビー教室開校が決定した。今後は、ラグビーアカデミーとして活動の継続・充実を図りたい。</p>

教室名	福岡クラス
メインコーチ	下園博信
開催条件	<p>使用しているグラウンドの環境、条件（大きさ、特徴、サポート体制 等）</p> <p>九州共立大学のラグビー場（人工芝）を借りることができ、十分なスペースで行うことができた。更衣室、シャワー室の確保もしていたが、使用する受講生はいなかった。</p> <p>開催グラウンドの周辺ラグビー環境（スクール、部活動 等の有無）</p> <p>大学周辺はラグビースクールが多くあり、最初は「九州共立大でスクールをやるらしい」などと、警戒されてしまった。受講生の9割がスクールに所属していた。</p> <p>グラウンド確保の借用方法（手続き、借用方法の流れ）</p> <p>ラグビー協会からの正式な書類を大学へ提出し、九州共立大学より借用許可をいただいた。</p>
指導内容 (方針)	<p>12回の教室からの指導のターゲット（目標）</p> <p>小学生が多かったので、「安全に楽しくラグビーのスキルを身に付ける」というテーマで行った。もちろん、ラグビーの原則の理解と実践をもとに、原則を合理的に実行する上でのテクニックを指導し、スキルを習得させた。</p> <p>1日のプログラム組み立ての考え方</p> <p>1. ウォーミングアップ 2. 動き作り 3. 基本テクニック 4. 試合場面でのテクニック（スキルとして） 5. ゲーム 6. ストレッチ&ダウン</p> <p>教えるときに注意した点や指導テクニック</p> <p>特に小学生が多く、中学生との差が大きいということと、小学生の中でレベルの差が大きいということがあり最初は松本コーチとともに戸惑いを感じた。回を重ねるごとに、伝え方や伝わったことを確かめる方法など、動き、言葉、表情など多様なコミュニケーション法が必</p>

	要だなと感じた。また、九州共立大の学生が毎回サポートしてくれたことで、我々の意図を上手く伝えてくれたと考える。
感想・印象 今後の展望	参加者の程度（競技レベル、運動能力等）
	上述のとおり様々であった。特に中学生、小学生ともにスキルレベルは様々だった。しかし、彼らは県内に小学生の全国チャンピオン、中学生の全国チャンピオン、高校の全国チャンピオンがおり、質の高いラグビーを身近に感じていた。
	参加者の様子（主観的な参加者の受けている印象 楽しそう、充実している等）
	スクールでどのような指導を受けているのかということが、1つ気になっていた。こちらから練習の説明をしたとき、「あれっ」という顔をする子もいた。しかし、どの練習にしても積極的に上手くなるという意欲は感じられた。それと、ラグビーが好きでやっているという印象を強く持った。
	12回の指導からの成長具合や理解度、指導からの印象
	途中から上達が感じられた。理解力と実践力はスクールで鍛えられていると感じた。休まずに来てくれた子も多かったように思われ、週一回ながら、継続した子は明らかに上手くなっていると思われた。サポートしてくれた、九州共立大の学生も特に毎回参加した教員希望の学生には成長が感じられた。
メッセージ	指導をした参加者へのメッセージ
	「安全に楽しく」という目標は達成できたと思います。日々の生活の中に「ラグビー」があることは幸せなことだと思います・・・他の競技にない面白さをみなさんは、知っているはずだから、幸せな理由は書きません。これからも「ラグビーファミリー」として、また新たなラグビーファミリーを増やして、「ラグビー」がある生活を楽しみましょう。12回、ありがとうございました。
雑感	中学放課後ラグビーに関する成果や期待度
	率直に、「もう少しこうすれば・・・」ということはあるが・・・12回目が終わった時に、中学生の保護者の方がご挨拶に来られ「これって、継続しないのですか？来週からもできませんか？」と言われた。中学で部活には入れてもらえず（週末はスクールの練習・試合に参加するから）、月～金は、どのように過ごしていいのかわからないということであった。このような現状（以前はサッカーのクラブ参加者と部活との関係）が、あることも知り、ラグビーで地域との連携をはかることの必要性を感じた。